

令和3年10月28日

## 地域医療支援病院の承認にあたっての考え方

日野市立病院

院長 井上 宗信

当院は人口 18.7 万人の日野市内唯一の中核病院として、急性期 300 床を 7 対 1 基準看護で運用しております。医師および医療機関が少ない南多摩地域の中で、日野市医師会と市内 6 病院および、近隣の回復期病床と病々連携することで、効率良く地域医療に貢献しております。

地域の医療機関とは連携会議や多くの講演会を開催し、病診、病々連携を年々高めるとともに、年 4 回開催する運営協議会を通じて、市内医療機関および市民に運営状況のご理解を進めてまいりました。地域医療支援病院としての全般的診療体制は以前から満たしていた一方で、地域から直接来院する初診患者の数も多く、今まで紹介率を高められない状況にありました。しかし、病診連携の促進により紹介率、逆紹介率を徐々に高めることが出来、この度、申請要件を満たすこととなりました。

病院理念は「市民に信頼され、選ばれる病院」です。これをモットーに、「お断りの無い」体制構築を目指してきました。また、公立病院として、5 年毎の改革プランを策定し、5 疾病 5 事業に対応出来る体制を地域医療構想の中で生かせるよう収支改善を計画し、実行計画のPDCAサイクルで取り組んでいます。

救急体制としては内科・循環器内科、小児科、外科系、産科、救急科当直の 5 系列当直と緊急手術や透析オンコール体制を敷いて、24 時間 365 日救急に対応しております。2020 年度は感染対策上の理由で救急車応需が十分出来ない中でも年間 2,000 台以上の受け入れを行うことが出来ました。また、市の特命として、地域の救急医療と小児周産期医療体制を堅持し、特に小児科の救急車応需率は 100%近い成績を保っており当院の特色です。病院の総合的機能に関しては、病院機能評価機構の認定(3rd., Ver.1)を受け、安定した安全な医療提供を続けているところです。

また、新型コロナウイルスへの対応にあたっては、重点医療機関として軽症から中等症、一部重症患者の入院診療を行い、医師会との連携の中で発熱外来を継続して行ってまいりました。感染症診療協力医療機関として、そして災害拠点病院として DMAT 隊を持ち、まさかの際の地域への医療提供を行う体制も構築できております。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見えない中ですが、今後も地域クリニックと連携し、地域医療を支える中心的な役割を担うとともに、市民や地域、社会的な要請に応えてまいります。また、地域医療教育等を通じて地域全体の医療の質を高め、より一層の病診連携を促進させるとともに、救急応需の充実、高度医療の提供、地域医療ニーズに合わせた機能向上等の課題に取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担う持続可能な公立病院としてより一層努力していく所存です。

以上